

平成24年度の主な取り組み



大型防災備蓄倉庫の整備、30万食の備蓄完了

大規模災害時の配給物品や、災害初期に必要な資機材および生活支援物品を計画的に備蓄配備し、災害時の迅速かつ円滑な対応を図るため、大型防災備蓄倉庫整備事業を推進、2基目となる中部地区の運用を開始しました。さらに、30万食の備蓄を完了するなど、防災備蓄倉庫に配備する物品の充実を図りました。



海老名駅東西一体のまちづくりに向けて

海老名駅西口土地区画整理事業への補助などにより、都市基盤施設の整備を促進しました。また、海老名駅自由通路整備（駅間部）事業として中間部の工事契約を締結するなど、交通結節点機能の強化を図りました。



防災カメラ設置、災害時燃料備蓄施設整備

東日本大震災を教訓とし、災害時に被災状況を視覚的に把握することで被害を最小限にとどめることを目指す防災カメラを設置するとともに、災害時の燃料確保のため、給油施設を有する消防署今里出張所を整備しました。



農地の有効活用と遊休農地解消に向けて

市がコンバインなどの農機具を所有し、貸し出すことなどにより、地域営農団体を中心とした農作業受委託を促進し、農業の担い手の育成や農業経営の安定、効率化を図るとともに、農地の有効活用と遊休農地の削減に努めました。



「食」をキーワードとした多機能施設の完成

学校給食だけでなく、「食」をキーワードに広く市民にサービスを提供する施設として「食の創造館」を整備し、供用を開始しました。



お財布は5つあります

市では現在、5つのお財布（会計）に分けて家計を管理しています。

一般会計
国民健康保険事業特別会計
下水道事業特別会計
介護保険事業特別会計
後期高齢者医療事業特別会計

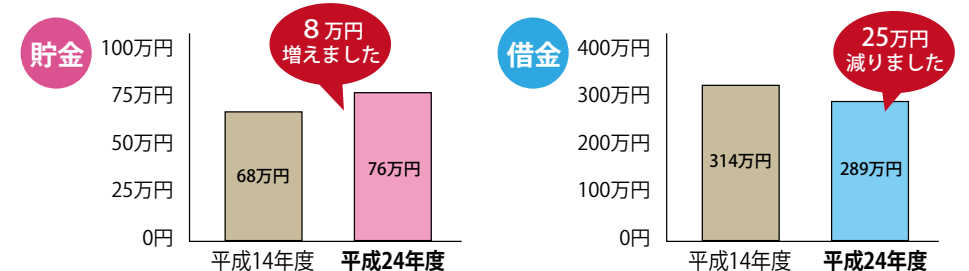
子どものお財布



今回は、一般会計の家計簿を掲載しており、その他の4つの特別会計を「子ども」と表現しています。

どのくらい貯金と借金があるの？

年収500万円の家計に例えると



どうして借金をするの？

市債を発行する理由

多額の費用がかかる公共施設や道路などを建設するとき、市は長期のローン（市債の発行）を組んでいます。ローンを組まないで建設をすると、建設時の市民の負担が大きくなるほか、その影響でほかのサービスの低下を招いてしまう可能性もあります。そのために市債を発行し、建設費用を将来にわたって分割、返済していくことで、その施設を使う「次世代の市民」と「建設当時の市民」との間に不公平が生じないようにしているのです。

お財布の健康診断をしました！

毎年、財政健全化法に基づき、お財布の健康診断をしています。5つに分かれている全てのお財布の中身、借金や貯金の状況などが判断材料になります。財政健全化法では、「早期健全化基準」を超えると「経過観察」＝「黄信号」とされ、「財政再生基準」を超えると「要治療」＝「赤信号」と判断されます。平成24年度の健康診断の結果、海老名市は早期健全化基準を大きく下回り、「健康状態良好」と診断されました。

検査項目	検査結果	黄信号 (早期健全化基準)	赤信号 (財政再生基準)
一般会計の赤字の割合（実質赤字比率）	赤字はありません	12.29%	20%
全ての会計の赤字の割合（連結実質赤字比率）	赤字はありません	17.29%	30%
年間の借金返済額の割合（実質公債費比率）	0.6%	25%	35%
将来負担する見込みの負債の割合（将来負担比率）	算定されませんでした	350%	